

<目標> 入試突破力を身に付ける

1	今年度の達成目標	数学検定試験 2 級合格 進研模試 55 以上	担 当 教 師	
2	数学科の指導 <授業の指導の重点> (1)基礎概念の定着・・・・・・・・ (2)志望校別演習・・・・・・・・ <授業外の指導の重点> (1)放課後講習・・・・・・・・ <各種実力試験の実施> (1) 数学検定試験・・・・・・・・ (2) 各種模試・・・・・・・・	既習内容の復習を通し、数学の基礎的な概念の定着を図ります。 全体での講義と別に、各々の志望校別の演習を個別に行います。 十分な演習時間を確保します。 ※必要に応じて、数Ⅲの内容を多めに扱う。 年 3 回実施されますが、各自の進捗に合わせて受験します。 入試突破（国公立 2 次・私大対策）に向け、苦手手の分析を行います。		
3	指導教科書	（過年度に購入した「数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ（東京書籍）」を補助的に使用します）		
4	補助教材	ベーシックスタイル数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B 受験編（数研出版） リンク数学Ⅲ演習（数研出版）		
5	評価・評定	(1)定期考査・日常の学習状況を総合して評価します。 ①日頃の観察や小テストなどで「30 点／30%換算」します。 ②定期考査で「100 点満点／70%換算」します。		

《生徒諸君へ》

- (1)「家庭学習」・・・短い時間でも、毎日、予習復習を必ず行いましょう。
- (2)「持ち物」・・・教科書、ノート、問題集

数学科指導計画

	教科行事	数学演習 I II III	内容	達成目標(Can-Do)
4月	※前年度の 数Ⅲの残り があれば 扱う	I 数と式 II 関数と方程式・不等式	1 式の計算 2 恒等式・割り算の問題 3 方程式・不等式の解法 4 関数とグラフ 5 最大・最小 (1) 6 最大・最小 (2) 7 2次方程式の理論 8 種々の方程式の問題 9 不等式の種々の問題	・複雑な数式を扱うことができる。
5月	中間考査	III 式と証明, 論理 IV 整数の性質 V 場合の数・確率	10 式の値, 二項定理 11 等式・不等式の証明 12 集合と論証 13 約数と倍数 14 不定方程式 15 整数の性質の種々の問題 16 場合の数, 順列 17 組合せ 18 確率 (1) 19 確率 (2)	・複雑な数式を扱うことができる。 ・複雑な集合, 論理と命題を扱うことができる。 ・複雑な場合の数, 確率を扱うことができる。
6月		VI 図形の性質 VII 図形と式 VIII 三角・指数・対数関数	20 図形の性質 (1) 21 図形の性質 (2) 22 点と直線 23 曲線と直線 24 軌跡と領域 25 図形と式の種々の問題 26 三角比と三角形 27 図形と計量 28 三角関数 (1) 29 三角関数 (2) 30 指数・対数の計算 31 指数・対数の種々の問題	・複雑な図形を扱うことができる。 ・複雑な関数を扱うことができる。
7月	期末考査 夏季講習 I	IX 微分法・積分法 (講習) 必要に応じて数Ⅲ	32 導関数, 接線 33 関数の増減・極値 34 最大・最小 (微分法)	・複雑な微分を扱うことができる。
8月	夏季講習 II	(夏季課題)		・前期学習範囲の苦手を克服できる。
9月		X ベクトル	35 方程式・不等式への応用 36 積分の計算 37 定積分で表された関数 38 面積 (1) 39 面積 (2) 40 ベクトルの基本 41 ベクトルと内積 42 ベクトルと平面図形 (1)	・複雑な積分を扱うことができる。 ・複雑なベクトルを扱うことができる。
10月		XI 数列 XII データの分析	43 ベクトルと平面図形 (2) 44 ベクトルと空間図形 45 等差数列・等比数列 46 種々の数列 47 漸化式と数列 48 数学的帰納法 49 数列の応用 50 データの分析	・複雑な数列を扱うことができる。 ・複雑なデータを扱うことができる。
11月	中間考査 I	入試過去問演習	共通テスト対策 2次試験対策	・入試突破力を身に付ける。
12月	中間考査 II	入試過去問演習	共通テスト対策 2次試験対策	・入試突破力を身に付ける。